【公報種別】特許法第１７条の２の規定による補正の掲載
【部門区分】第５部門第３区分
【発行日】平成31年1月24日(2019.1.24)

【公開番号】特開2016-114352(P2016-114352A)
【公開日】平成28年6月23日(2016.6.23)
【年通号数】公開・登録公報2016-038
【出願番号】特願2015-246077(P2015-246077)
【国際特許分類】
Ｆ２４Ｆ　7/04　(2006.01)
Ｆ２４Ｆ　13/28　(2006.01)
Ｂ０１Ｄ　46/00　(2006.01)
【ＦＩ】
Ｆ２４Ｆ　7/04　Ｚ
Ｆ２４Ｆ　13/28
Ｂ０１Ｄ　46/00　Ｃ

【手続補正書】
【提出日】平成30年12月7日(2018.12.7)
【手続補正１】
【補正対象書類名】特許請求の範囲
【補正対象項目名】全文
【補正方法】変更
【補正の内容】
【特許請求の範囲】
【請求項１】
空気の通流のために、少なくとも１つの空気路を有する換気装置であって、
前記少なくとも１つの空気路（８００）内には、フィルタ材料（５２０）を有する空気フィルタ（５００）を受容するためのフィルタ受容部（８１０）が配設されている形式の換気装置であり、
該換気装置は、汚染物質を回収するための少なくとも１つの回収容器（５３０）を有すること
を特徴とする換気装置。
【請求項２】
前記回収容器（５３０）は、空気の通流方向（８２０）において前記フィルタ材料（５２０）の手前に配設されていること
を特徴とする、請求項１に記載の換気装置。
【請求項３】
前記空気フィルタ（５００）は、フィルタ材料（５２０）を保持するための保持フレーム（５１０）を有し、前記回収容器（５３０）は、直接的に前記保持フレーム（５１０）に配設されていること
を特徴とする、請求項１又は２に記載の換気装置。
【請求項４】
前記回収容器（５３０）は、前記保持フレーム（５１０）により構成されていること
を特徴とする、請求項３に記載の換気装置。
【請求項５】
前記回収容器（５３０）は、汚染物質を確保するための確保要素を有すること
を特徴とする、請求項１～４のいずれか一項に記載の換気装置。
【請求項６】
前記回収容器（５３０）は、昆虫を誘き寄せるための誘引要素を有すること

を特徴とする、請求項１～５のいずれか一項に記載の換気装置。
【請求項７】
空気フィルタであって、
該空気フィルタ（５００）は、フィルタ材料（５２０）を保持するための保持フレーム（５１０）を有する形式の空気フィルタであり、
該空気フィルタ（５００）は、汚染物質を回収するための回収容器（５３０）を有すること
を特徴とする空気フィルタ。
【請求項８】
前記回収容器（５３０）は、前記保持フレーム（５１０）により構成されていること
を特徴とする、請求項７に記載の空気フィルタ。
【請求項９】
前記回収容器（５３０）は、汚染物質を確保するための確保要素を有すること
を特徴とする、請求項７又は８に記載の空気フィルタ。
【請求項１０】
前記回収容器（５３０）は、昆虫を誘き寄せるための誘引要素を有すること
を特徴とする、請求項７～９のいずれか一項に記載の空気フィルタ。